



## IAMが高等教育機関にもたらす 高いセキュリティ

世界各地の大学がOne Identityの高度なIAMソリューションを導入して、常に変化する人口のセキュリティと可視性を改善しています。本書では、6つの大学の成功事例をご紹介します。



## キャンパスのID管理、その独特の課題

今日の高等教育機関では、学生、教員、およびスタッフは学習や仕事に必要な情報、アプリケーション、システムに、いつでもどこからでもアクセスする必要があります。さらには、キャンパスのネットワークにリモートアクセスする必要がある外部の第3者（研究者、パートナー、サプライヤ、サービスプロバイダ）もいます。

しかし、このようなシームレスなアクセスを提供することは、大学にとって困難な場合があります。ユーザが常に変化しているからです。ゲスト研究者は数日間のアクセス権が必要なかたもしれませんし、1ヶ月の授業に登録する学生もいるでしょう。それに加えて、大人数の変動に対処しなければならない場合もあります。例えば、1日に5,000人の学生が卒業したり、学年度の初日に5,000人の新入生がキャンパスに到着したりする場合があります。



## 高等教育機関のネットワークとリソースのセキュリティ保護の鍵であるIDおよびアクセス管理

このような課題に対処するため、高等教育機関では、ITインフラストラクチャとアプリケーションプラットフォーム全体にIDおよびアクセス管理 (IAM) ソリューションを導入することを検討する必要があります。もちろん、口で言うほど簡単なことではありません。

目標の1つは、ユーザのオンボーディングとプロビジョニング解除を高速化することですが、ロールとユーザのニーズの変化により、複雑なものになる可能性があります。さらに、IT部門はこれらのロールを標準化して、教育機関独自の、および政府が課したセキュリティおよびプライバシーに関する規制のコンプライアンスを維持する必要があります。

## 高等教育機関のセキュリティを強化するためのOne Identityソリューション

こうした場合に、One Identity IAMソリューションが役立ちます。導入しやすく、使い方も簡単で、その機能と特長によりITスタッフの時間を節約できます。ユーザエクスペリエンスを大幅に改善することもできます。そして、最も重要なことに、高等教育機関全体でセキュリティを強化できます。

### Identity Manager

Identity Managerを使用すると、大学はセキュリティポリシーを統一し、以下のような機能によりガバナンスのニーズを満たすことができます。

- システム、プラットフォーム、アプリケーションへのエンタープライズプロビジョニングを自動化して、古いシステムや手動手順を排除
- すべての非特権ユーザと特権ユーザのポリシーを統合
- オンプレミスのアプリケーションを超えて、ガバナンスへの投資を拡大
- コンプライアンスの準拠と要件の監査
- 複数のソースからポリシーを統一してリスクを低減
- SAPに最適化された職務分掌を検証および実施
- ユーザのセルフサービスとシングルサインオンを円滑化

### Active Roles

Active Rolesは、Microsoft Active Directory (AD) およびクラウド・サービス・ベースのAzure Active Directory (AAD) の管理者に、ユーザおよびグループアカウント管理の自動化ツールを提供します。以下のような特長があります。

- 重要なActive DirectoryおよびAzure Active Directoryのデータを保護
- 最小限の特権だけを付与することで管理アクセスを規制
- ユーザ/グループアカウントの作成と削除を自動化
- Exchange Online、Lync、SharePoint Online、Office 365などの多数のIDを管理
- ハイブリッドなAD/AAD環境に対応した、単一の直感的なツールを提供
- 監査に対応したレポート生成
- 価値を早期実現するための迅速な導入
- いつ、誰が、何を変更したかを記録

### One Identity Safeguard

ますます多くの大学が、共有された特権資格情報からリスクを排除するためにSafeguard for Privileged Passwordsも導入しています。この製品は、ロールベースのアクセス管理と自動化ワークフローによって、特権資格情報を付与するプロセスを自動化、制御、保護します。また、特権アカウントのコンプライアンス要件を容易に満たし、監査レポートをより迅速かつ簡単に作成できます。

## 世界各地の大学がOne Identityソリューションを導入してセキュリティの強化に成功しています

次ページ以降で、以下の6つの世界的な大学がユーザとITスタッフのためにIAMを改善および簡素化した方法をご紹介します。

6

**ウェイン州立大学**  
One Identity Managerおよび  
One Identity Starling Connect

7

**ウェスタンカロライナ大学**  
One Identity ManagerおよびOne Identity  
Manager Data Governance Edition

8

**ラドバウド大学**  
One Identity Manager

9

**アンカラ大学**  
One Identity Safeguard for Privileged Sessions

10

**カナディアン大学ドバイ**  
One Identity Managerおよび  
One Identity Password Manager

11

**ジョージ・ワシントン大学**  
One Identity Active Roles



## WAYNE STATE UNIVERSITY

### お客様のプロフィール

法人: ウェイン州立大学

業種: 高等教育

国: 米国

従業員数: 9,000人

学生数: 27,000人

ソリューション: One Identity Manager  
およびOne Identity Starling Connect

パートナー: Immersion Technologies

「明らかに、大きな改善です…。Identity Managerでビジネスロールを作成でき、それをグループに割り当てることができます。」

Eric Dau氏、ウェイン州立大学主任、アプリケーション・テクニカル・アナリスト

## データ保護とアクセスの簡素化と改善

ウェイン州立大学は、One Identityソリューションを使用してIAMワークフローを合理化することで、効率性とセキュリティを向上させています

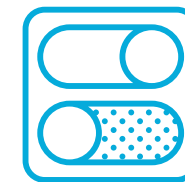
### 現在、ウェイン州立大学では…

セキュリティ、データ保護、およびサービスレベルを向上させるために必要なIAMソリューションを利用しています。ITの稼働時間の増加、スタッフの効率性の改善、複雑さの軽減に加えて、同大学では簡単にサービスを拡張してユーザの増加や変更に対応できるようになりました。ウェイン州立大学は、以下のようにしてこれを実現しています。



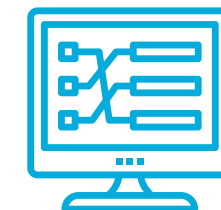
### 適切な人に適切なアクセスを付与

- 学生、スタッフ、教員は、財務、健康、クレジットカード、授業、学生、調査データなど、データの種類にかかわらず、必要なデジタルリソースに必要な分だけ素早くアクセスできます。



### 適切な制御レベルの実施

- ユーザのアクセス権は、割り当てられたビジネスロールとユーザグループに基づいています。
- 標準化されたIAMワークフローにより、HIPAA、FERPA、GLBA、およびSOXの規制のコンプライアンスが保証されます。



### 適切なプロセスの使用

- コードを記述する代わりに、ITスタッフは事前に構築されたコネクタとポイント&クリックのインターフェイスを使用して、IAM内の必要な変更（アプリケーション間の接続の追加など）を管理します。
- 大学のActive Directoryへの必要な変更は、自動化されたプロビジョニングとプロビジョニング解除のワークフローによって行われるため、これらのプロセスを手動で行う必要がありません。
- 新しいIAMソリューションは、複雑さが軽減され、拡張も容易なので、大学の人口の増減の管理が簡素化されました。



#### お客様のプロフィール

法人: ウェスタンカロライナ大学

業種: 高等教育

国: 米国

従業員数 1,600人

学生数: 10,800人

ソリューション: One Identity ManagerおよびOne Identity Manager Data Governance Edition

パートナー: Immersion Technologies

「Identity Managerを使用することで、Active Directory内のユーザをすべて把握できます。その結果、7万もの非アクティブなプロフィールを排除して、リスクを軽減できました。」

**Stanley Hammer氏、**  
ウェスタンカロライナ大学、チーフテクノロジスト

## ユーザのプロファイルに対する360度のインサイトがリスクを削減

セキュリティ、学生サービス、節約を改善しながら、ITサポート要請を24 %削減

### 現在、ウェスタンカロライナ大学では…

非アクティブな7万個のアカウントを特定して削除し、セキュリティを向上させ、ITスタッフが年間2,000時間を他の業務に費やせるようになり、学生や入学希望者をサポートするソフトウェアサブスクリプション費を毎年5,000ドル節約しています。ウェスタンカロライナ大学は、以下のようにしてこれを実現しています。



#### 適切な人に適切なアクセスを付与

- 申請者と学生のユーザプロフィールは、学生情報システム内の変更に基づいて自動的にプロビジョニングおよびプロビジョニング解除されます。
- 大学はパスワードを変更できる管理アカウントの数を大幅に削減しました。



#### 適切な制御レベルの実施

- 学生情報システムに大学の入学願書が届くと、8分以内に申請者にEメールが送信され、提供された学生IDとワンタイムURLを使用してアカウントをアクティブにするよう通知します。



#### 適切なプロセスの使用

- アクティベーションプロセス中に、申請者はパスワードを設定し、セルフサービス・パスワード・リセット機能を利用することを選択します。
- 各プロフィールは特定のロールとアクセス特権に関連付けられるので、ITスタッフは各ユーザに関連付けられたすべてのロールとそれがアクティブかどうかを確認し、アクセスがどのように発生したかを判断できます。

Radboud University



お客様のプロフィール

法人: ラドバウド大学

業種: 高等教育

国: オランダ

従業員数: 40,000人

学生数: 19,000人

ソリューション: One Identity Manager

パートナー: Intragen BV

「Identity Managerはその完全性により、他のソリューションとは一線を画します。プロビジョニングレベルとガバナンスレベルの両方で私たちが直面するすべての問題に、単一の製品で対処できます。」

**Jos Groenewegen氏**、  
ラドバウド大学、シニアマネージャ

## 大学が登録時間を50 %短縮

ラドバウド大学は、効率的なIDおよびアクセス管理により、アジリティを向上させ、コストを削減し、将来に備えています

現在、ラドバウド大学の…

IAMソリューションではアクセスのプロビジョニングとガバナンスを組み合わせることでITの作業を簡素化しており、ITは他のタスクに時間を充てられるようになっていきます。法的要件の変更や新しい技術の導入に、これまでよりもはるかに迅速に対応できます。ラドバウド大学は、以下のようにしてこれを実現しています。



### 適切な人に適切なアクセスを付与

- 大学に大量の機密データが保管されていることを考慮して、ロールベースのアクセスで、ユーザがその時点で必要なリソースのみにアクセスできるようにします。



### 適切な制御レベルの実施

- ロールベースのIAMは、大学が「資格のクリープ」を防止するのに役立ちます。「資格のクリープ」とは、大学内で職務が変更になったものの、以前の職務で必要だったアクセス特権がそのまま残り、蓄積されてしまうことを指します。
- IDのプロビジョニングとガバナンスを1つのソリューションに統合することで、大学は全体的なセキュリティを強化しました。



### 適切なプロセスの使用

- セキュリティプロセスがスムーズに実行されることで、ユーザがセキュリティ対策または回避策の実施を怠るのを防止し、これによってコンプライアンスを向上させ、最終的に大学のセキュリティに対する姿勢を改善しています。
- 資格をモデル化してユーザIDを統一することで、登録時間が2~3日から1日に短縮されるなど、ユーザエクスペリエンスが改善されました。
- 新しいIAMソリューションは、大学の組織内の変更管理を容易にし、ITのワークロードをさらに軽減しました。





#### お客様のプロフィール

法人: アンカラ大学

業種: 高等教育

国: トルコ

従業員数: 11,600人

学生数: 66,500人

ソリューション: One Identity  
Safeguard for Privileged Sessions

パートナー: Profelis Bilisim Ltd.

「適切な価格で、使いやすく、強力なテクニカルサポートとスムーズな動作。これらすべては、私たちがSafeguard for Privileged Sessionsを選択したときに正しい決定をしたと確信できる理由です。」

Riza Ayhan氏、アンカラ大学、IT部門責任者

## アンカラ大学でデータロスを防止

アンカラ大学は、外部サービスプロバイダへのアクセス提供のリスクを軽減しています

### 現在、アンカラ大学では…

サードパーティによる大学のネットワークやサーバ（特にリモートでサポートされているもの）へのアクセスに対する可視性と制御が大幅に改善されています。これには、Oracle RDBMSを実行しているUNIX/Linuxサーバ、.NET frameworkを実行しているMicrosoft SQL ServerおよびStudent Information Systemが含まれます。アンカラ大学は、以下のようにしてこれを実現しています。



### 適切な人に適切なアクセスを付与

- ミッションクリティカルな機能と機密性の高いユーザデータをホストしている5つの内部サーバをサポートする外部のサードパーティによって、リモートデスクトップ（RDP）接続とセキュアシェル（SSH）接続の制御とモニタリングを改善しました。



### 適切な制御レベルの実施

- セキュアなサーバアクセスをさらに改善するために、ソリューションの資格情報ストアと2人体制の認証オプションも実装しました。
- 外部のサービスプロバイダは、自分たちの行動が監視されていることを知っているため、リモートセッション中はより慎重になります。



### 適切なプロセスの使用

- 外部サービスプロバイダのユーザセッションをタイムスタンプ付きのファイルに安全に保存します。不正なアクティビティの法的証拠が必要な場合、こうした記録から検索できます。



#### お客様のプロフィール

法人: カナディアン大学ドバイ

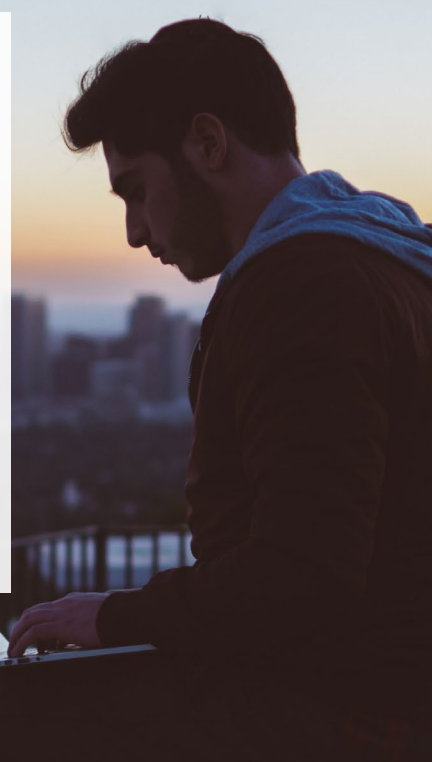
業種: 高等教育

国: アラブ首長国連邦

従業員数: 400人

学生数: 4,000人

ソリューション: One Identity Manager  
およびOne Identity Password Manager



## 大学がID管理の時間と労力を大幅に削減

カナディアン大学ドバイは、ID管理およびガバナンスプロセスを合理化して、プロビジョニング時間を48時間から5分に短縮しました

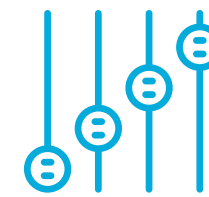
### 現在、カナディアン大学ドバイは…

全体としてはるかにセキュアで、ITスタッフの時間を大幅に節約し、数千人のユーザエクスペリエンスを向上させています。特に、各学期の開始時期の大きなITボトルネックを克服しました。カナディアン大学ドバイは、以下のようしてこれを実現しています。



#### 適切な人に適切なアクセスを付与

- 非常に多様なIDが存在する状況にもかかわらず、大学はすべてのユーザに、オフィス、自宅、携帯電話からデフォルトのパスワードをリモートで変更できる権限を与えています。
- ユーザはそれぞれのルールに基づいて、セキュリティを犠牲にすることなく、必要とするさまざまなリソースやアプリケーションにアクセスできます。



#### 適切な制御レベルの実施

- ロールベースのIAMはアクセス特権を職責に一致させるのに役立ち、ユーザが仕事に不要な複数の資格情報を蓄積するのを防ぎます。
- 誤ってユーザに与えていた余分なアクセス許可を、大学は排除しました。このようなアクセス許可はセキュリティリスクを増大させていました。



#### 適切なプロセスの使用

- 標準のIAMアクティビティを一元化および自動化することで、平均プロビジョニング時間を48時間からわずか5分に短縮することができました。
- パスワードの発行と管理により、ITの関与なしでユーザパスワードを大学のセキュリティポリシーに準拠させることができます。さらに、リセットが必要な時期にリマインダを発行して、ITスタッフに大幅な時間の余裕をもたらします。

## THE GEORGE WASHINGTON UNIVERSITY

WASHINGTON, DC

### お客様のプロフィール

法人: ジョージ・ワシントン大学

業種: 高等教育

国: 米国

従業員数: 14,000人

学生数: 28,000人

ソリューション: One Identity Active Roles

パートナー: XMS Solutions

「私たちはOne Identity Active Rolesが操作時間とエラーを削減し、その結果、学生から教職員、ITまですべてのユーザーに対するサービスが改善されることを期待しています。」

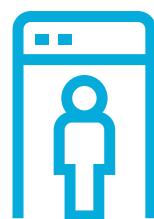
**Naveed Yousaf氏**、ジョージ・ワシントン大学、ミドルウェアおよびIDサービスアソシエイトディレクター

## キャンパス全体でより優れたIDおよびアクセス管理を構築

ジョージ・ワシントン大学は、複数のキャンパスにまたがる数万人のユーザーのIDおよびアクセス管理を簡素化および自動化して、大規模なIDプラットフォームの強固な基盤を構築します

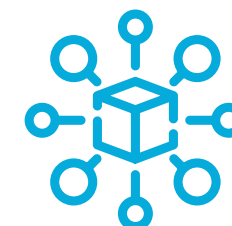
### 現在、ジョージ・ワシントン大学では…

一元化されたActive Directory管理をサポートする、合理化されたIDおよびアクセス管理モデルを運用しています。操作時間の節約とエラーの排除により、すべてのユーザーに対するサービスが向上しました。ジョージ・ワシントン大学は、以下のようにしてこれを実現しています。



### 適切な人に適切なアクセスを付与

- 自動化されたロールベースのアクセスにより、ユーザーアカウント管理が簡素化され、新規ユーザーにアプリケーション、Eメール、その他のシステムを学習するために適切な権限がプロビジョニングされます。
- 毎日50万回以上のログインが処理されており、そのうちシングルサインオン (SSO) ログインはSSO用に構成された140のアプリケーションに対して45,000回行われています。



### 適切な制御レベルの実施

- 大学は7つのディレクトリシステムを一元化されたActive Directoryデータベースに統合できましたが、各ディレクトリの所有者は引き続き、ユーザーコミュニティの権限を制御することが可能です。



### 適切なプロセスの使用

- IT管理者はIAMタスクが失敗するとただちに通知を受け取ることで、システムパフォーマンスやユーザーのアクセス権限に影響が及ぶ前にタスクを再開できます。
- パスワードリセットにこれまでは10分必要でしたが、現在はほとんどリアルタイムで行われています。これにより、ITスタッフは他のタスクを行うための時間を節約できます。



業界のエキスパートがIAM向けのOne Identityソリューションを推奨しています

## #GetIAMRight



### リーダー

IDガバナンスおよび管理分野の2018年2月版Gartner Magic Quadrant



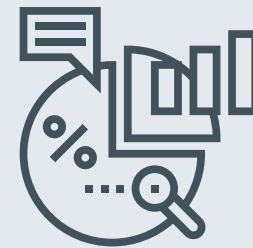
### リーダーズチョイス賞

情報セキュリティ雑誌のリーダーズチョイス賞をガバナンス、リスクおよびコンプライアンス部門で受賞



### 受賞

KuppingerColeがEICにて、Identity Managerを利用するお客様に3年連続でBest IAM Projectを授与



### 総合リーダー

および製品リーダー (KuppingerCole Leadership Compass for Access Management and Federation)



### 推奨

IDおよびアクセス管理ソリューションプロバイダ (SC Magazine)





oneidentity.com